川崎市議会議員
本間賢次郎 ケンジロウ
市政レポート No. 64（令和7年新春号）
事務所 〒210-0834 川崎市川崎区大島 3-14-17
TEL044-742-8072 FAX044-211-1081

未来へ働き続ける、想いを「ツナ」ぐ。
イメージキャラクター：本マグロ ツナジロウ

新年を迎えて



皆様におかれましては、お健やかに令和７年の新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

旧年中は、皆様より多大なるご指導、ご支援を賜り、厚く感謝申し上げます。

本年も初心である「皆様のお役に立ちたい」の一心をもって、活動を行って参りますので、旧に倍するご理解とご協力、ご教導をお願い申し上げます。

末筆ではございますが、本年が、皆様にとりまして、素晴らしき、佳き年となりますようお祈り申し上げます。

働き盛り世代を襲う未解明の病 「男性の更年期障害」に支援を！

令和6年第4回定例会（同年11月26日～12月19日）の一般質問にて、「LOH症候群」いわゆる男性の更年期障害について取り上げましたので、報告いたします。

○経済損失、約1兆2,000億円・・・しかし、

女性においては更年期障害の存在が広く知られ、婦人科などの受診科や対処法、治療法が進んでいますが、近年、男性にも、特に働き盛り世代を中心に更年期障害と似た症状が見られるケースが存在し、さまざまなメディアで取り上げられることが多くなりました。国でも昨年、こうした男性に見られる更年期障害による経済損失が1兆2,000億円にも及ぶことを発表

するなど、その症状の重大性を知ることができます。

しかし、男性の更年期障害は病態が複雑で未解明の病とも言え、まだまだ医療界でも研究段階にあり、患者自身が病気と気づかなかったり、体調の異変に気づいても受診科がわからない、また相談先が不明だったり、周囲の理解が得られにくいなどのことから、症状を悪化させてしまうことがあります。

○異変に気づいたら、どこに受診すべきか。今できる取組は？

身体的症状が見られる場合には泌尿器科、精神的症状が見られる場合には心療内科等を受診することが望ましいとのことですので、それぞれの症状に合わせ治療に臨むということを今後、市ホームページなどで紹介していく旨の答弁があり、関連して、患者の家族や勤務先の理解度向上に向けたこの病気についての普及啓発の取組もなされることとなります。

○医療界も研究段階。だからこその行政等の取組は重要

医療界でも研究段階にあるため、治療法や行政による支援などはまだまだ不足していると言えます。重度の症状に至ると、精神的不調から自己否定、無気力感に襲われるなどに及び、適切な医療を受けられないと取り返しのつかないことも引き起こしかねません。そのような悲劇を生まないためにも、早期の支援体制の確立へ強く要望を行いました。

○「産業都市・かわさき」の働き盛りを守る！

私は、これからも成長を続ける若い力が集う川崎の街、産業・経済都市の川崎の街で、働き盛り世代が健全な心身を保ち、実力を発揮できるよう、安心できる福祉の取組、病に苦しむ人々に寄り添った支援のあり方について、今後も取り組んで参ります。

LOH症候群とは・・・・40代の頃から心身の不調が現れる傾向が見られると言われるが、生活環境によっては、より早く不調を感じ始めることもある。

症状としては、 不眠、食欲異常（低下または増加）、消化器官の不調、 頭痛、めまい、ホットフラッシュ（体温調節の異常）、多汗、自律神経の不調、抑うつ状態、性欲低下などが主に見られ、女性の更年期障害の症状とも似ていることから「男性の更年期障害」とも言われる。